

令和5年度 第6学年 総合的な学習の時間学習指導案 「誰もが暮らしやすい社会を目指して」 探究課題「福祉」(全70時間)

新宿区立落合第三小学校 第6学年 1組

1. 単元目標

身近な障がい者の暮らしや苦労について調べたり、それに関わる人々と共に活動したりすることを通して、(学習活動) バリアフリーやノーマライゼーションの考え方の価値や、それを支えている人々の存在に気づき、(知識・技能) そのような社会の実現に向けて自分にできることを見つけ、(思考・判断・表現) 協働して取り組むことができるようにする。(主体的に学習に向かう態度)

2. 学習内容

	児童観（児童の視点から）	教材観（教材の視点から）	指導観（手立ての視点から）
児童の実態 （普段の学習状況から）	※普段の児童の様子や学習履歴 ・世の中の多様な出来事に興味関心が高い児童が多い。 ・社会科で公民的内容を学習	※児童の実態から教材を通して学ばせたいこと ・思いやりの大切さの理解 ・相手意識をもつことの大切さの理解 ・多様な障がいへの理解	※児童の実態を受けて取り入れる手立て ・視覚的に話し合いを捉える板書の工夫 ・授業のねらいを捉えやすくする発問やルーブリックの工夫
教材の特性 （教材を通して育成したいこと）	※教材から学ばせたい概念的知識 ・多様性 ・連携性	※教材から学べる特有の知識 ・バリアフリーやノーマライゼーションの理念 ・多様な人々を支援する仕組み	※教材特有の GT や手立て ・ゲストティーチャーの思いを聞く ・区社会福祉協議会の思いを聞く
指導性 （本単元で指導する内容）	※児童の実態を受け、指導する内容 ・探究的な学習に必要な資質・能力の育成	※教材を通して本単元で指導する内容 ・コミュニケーションの大切さ ・助け合うことの大切さ	※本単元で指導する学び方の手立て ・主体的な学習活動 ・協働的な学習活動 ・シンキングツールの活用

3. 評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 社会には自分達とは違う多様な人々が生活していること、互いにささえあって生きていくことの価値や意味を理解する。 （概念的な知識の獲得） ② 課題に応じて、インタビューなどによる調査を、目的や場面に応じた方法で実施している。（自在に活用することが可能な知識。技能の獲得） ③ 探究的に学習していくことは、実社会の課題解決に効果的であることに気付いている。 （探究的な学習のよさの理解）	① 障がいのある方々の普段の生活や日頃の思いについて、インタビューしたり、話し合ったりすることを通して、課題を設定し、解決に向けて自分たちにできることを見通している。（課題の設定） ② 課題の解決のために必要な情報を、調査する対象に応じた方法や内容を選択し収集している。 （情報の収集） ③ 情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら、地域の人と協働して、課題の解決について考えている。（整理・分析） ④ 課題の解決に向けた過程の中で、相手や目的に応じて、適切に表現したり、まとめたりしている。 （まとめ・表現）	① 障がいのある方々の普段の生活や思いに触れ、誰もが暮らしやすい社会のよさや課題に関心を持ち、自分自身の生活を見つめ直し、他者の考えを受け入れながら学び合おうとする。 （自己理解・他者理解） ② 自分と異なる多様な意見や考えを生かしながら、自分の意思で他者と協働して課題解決に取り組もうとしている。（主体性・協働性） ③ 自分たちの社会の未来をよくするために必要なことを考え、行動に移そうとしている。（将来展望・社会参画）

4. 単元の学習活動

	小単元 1 つかむ（20時間）				小単元 2 関わる・追究する（30時間）				小単元 3 発信する・深める（20時間）	
	障がいがある人の生活について知ろう				障がいがある人を手助けできるようになろう				手助けをまちや学校に広げよう	
	学習計画	評価	学習計画	評価	学習計画	評価	学習計画	評価	学習計画	評価
課題 設定	○社会科「憲法とわたしたちの暮らし」で学んだバリアフリーや、障害者差別法を通して、障がいがある方の生活について関心をもつ	思①	○調べただけでは、分からなかったこと、新たな疑問の解決法について考える。	思①	○新たな課題の解決に向けた学習活動や、計画について考える。 （視覚障がいの方の手助けについて考えよう）	主③	○報告内容やGTの意見を基に、今後の活動のゴールイメージや計画を立てる。	知③	○報告内容やGTの意見を基に、今後の活動のゴールイメージや計画を立てる。	主③
情報 収集	○資料やインターネットで障がいに関する情報を集める。	思②	○疑問について、GTの話聞く。	知②	○視覚障がいの方が日常で困ることや、その手助けに必要な情報を集める。	知②	○「まちで実際に手助けできるようになろう」を目標に、新たな活動に必要な情報を集める。	思②	○「自分達が学んだことを地域や学校に広げていくこと」を目標に、新たな活動に必要な情報を集める。	主①
整理・ 分析	○集めた資料を基に分かったことをまとめる。	主②	○GTの話を取り返し、分かったことを整理する。	思③	○集めた情報を整理し、自分達にできそうな手助けについて考える。	主②	○集めた情報を必要に応じて整理する。	思③	○広げていく上で効果的な方法、内容を吟味する。【本時】	知①
まとめ ・表現	○分かったことをみんなで共有する。	思④	○振り返りを元に新たな課題についてまとめる。	知①	○整理したことをまとめ、今後の活動について考える。	思④	○まとめたことをGTに報告し、意見を聞く。	知①	○準備を整え、対象について発信する。 ○これまでの活動を振り返る。	知③

※評価の欄には、探究的な学習過程において特に重点的に評価する項目を入れる